

令和3年度職務関係者研修（第4回）

配偶者暴力（DV）と子供～児童虐待との関係～



東京ウィメンズプラザでは、配偶者暴力(DV)被害者の支援に関わる職務関係者を対象に、研修を実施しています。

本研修では、DVが子供たち（小学生以下）の心身や発達に及ぼす影響や児童虐待と表裏一体の関係にあることを学び、子供の出すサインを見逃すことなくDVを早期に発見し、母子ともに具体的な支援につなげられるようになることを目指します。

◆日時：令和3年12月17日（金） 13：30～16：10

受付は13：00～

本研修はオンライン（Zoom ライブ配信）で実施いたします

後日のアーカイブ配信はございません。予めご了承ください。

【講義1】13：30～15：00

「DVの実態と、被害者&子供への対応」

●講師：藤森 和美さん（武蔵野大学人間科学部 教授）

心の傷（トラウマ）をうける体験は、自然災害のほか、いじめや性的被害、家庭の不和、虐待など、子供たちの生活の中に潜んでいることを提唱し、予防的教育啓発活動、臨床ならびに実証的研究に取り組んでいる。また、犯罪や事故の被害者に対する心理的支援を実践しながら、心理支援の専門家養成にも力を入れている。著書に「子どもの性暴力被害 その理解と支援」「大災害と子どものストレス」「学校安全と子どもの心の危機管理」「子どものトラウマと心のケア」「被害者のトラウマとその支援」（誠信書房）「悲嘆の心理」「対人心理学の最前線」（サイエンス社）など多数。

【講義2】15：10～16：10

「児童虐待とDV被害への公民関係機関連携の間隙 ～重大事例から考える～」

●講師：鈴木 秀洋さん（日本大学危機管理学部 准教授）

元文京区子ども家庭支援センター所長、男女協働課長、危機管理課長、特別区法務部等。法務博士（専門職）・保育士。虐待、DV、ストーカー問題で国・自治体の審議委員やマニュアル作成に関わる。野田市及び札幌市の児童虐待死事件検証委員。主な著者『虐待・DV・性差別・災害等から市民を守る社会的弱者にしない自治体法務』（第一法規、2021）、編著『子を、親を、児童虐待から救う』（公職研、2019）

◆対象 男女平等参画推進センター、福祉事務所、子供家庭支援センター、保健所・保健センター、児童相談所・児童相談センター等、職務として女性や子供の支援に関わる関係者、都内保育園・幼稚園・小学校教職員、学童保育・クラブ担当職員、民生・児童委員等

申込締切：12月6日(月)

申込みに際しては裏面の注意事項を必ずお読みください

必ずご確認ください：Zoomによる受講について

☆ 以下の申込事項を記載し、必ずメールでお申込みください。

(電話・ファックスでの受付はできません。)

申 込 事 項 (メール限定)

件名：「職務関係者研修（第4回）申込」

- ① 参加者氏名（ふりがな）
 - ② 職場名
 - ③ 職種
 - ④ 現職種での職務経験年数（令和3年12月時点）
 - ⑤ 電話番号（日中連絡のつく番号）
 - ⑥ 参加動機、講師へ質問したいこと、その他連絡事項など
- ※ 同一端末から複数名受講の場合は①～⑥について全員分の記載をお願いします。

申込み先：wkoza@tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp

申込締切：12月6日（月）必着

- ☆ ご参加いただけない場合のみ、こちらから事前にその旨ご連絡いたします。
- ☆ ご参加の皆様には、ZoomのURLや受講上の注意を掲載した受講案内メールを12月10日（金）にお送りします。受講案内メールが届かない場合は、12月14日（火）までに下記問合せ先までご連絡ください。研修当日にご連絡いただいても対応できない場合がございます。

問合せ先：東京ウィメンズプラザ 事業推進担当

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67

Tel. 03-5467-1980

Mail: wkoza@tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp

- 配信URLをお送りするアドレスは、お申込みいただいたメールアドレスに限らせていただきます。
- 申込者のみ受講できます。第三者へのURLの転送、共有は固くお断りいたします。
- 研修内容の無断録音・録画・スクリーンショット撮影は禁止します。
- 後日のアーカイブ配信はありません。
- 個人情報には研修の運営目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

